

2021年7月19日

各 位

会社名	キヤノン株式会社
代表者名	代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
コード番号	7751
上場取引所(所属部)	東京、名古屋(以上第一部) 福岡、札幌
問合せ先	連結経理部長 谷野 幸穂 (TEL.03-3758-2111)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年7月19日の取締役会において、2021年4月26日に公表した2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年12月期通期 連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,500,000	198,000	211,000	140,000	133.89
今回修正予想(B)	3,600,000	283,000	298,000	201,000	192.23
増減額(B-A)	100,000	85,000	87,000	61,000	58.34
増減率(%)	2.9%	42.9%	41.2%	43.6%	43.6%
(参考) 前期実績 (2020年12月期)	3,160,243	110,547	130,280	83,318	79.37

#### 2. 修正の理由

2021年第2四半期は、第1四半期に続き、在宅勤務と在宅学習の世界的な広がりを背景として強い需要が続いているインクジェットプリンターの販売が順調に伸びております。またコロナ禍で行動等が制限される中でも、カメラへの関心・需要が高まり、各地域でフルサイズミラーレスカメラ及び交換レンズなどの好調な販売が続いており、医療や半導体露光装置なども好調な市況を捉えて売上を伸ばしております。モノ不足によるインフレ基調の中、これらの製品の良好な市場環境は下期も継続し、更にコロナワクチンの普及によりオフィスへの出勤者数の戻りも期待できることからオフィス市場のプリント需要の回復も見込まれます。これらを前提として、通期の業績予想を修正することといたしました。

以上